

# ハイマート Heimat

ぐんま日独協会会報

1997年 10月25日 発行

16 第十回記念  
大会号

発行者 平形 義人  
発行所 ぐんま日独協会

〒371 前橋市三俣町3-11-12  
☎027-231-7212 FAX027-232-4082



・ ぐんま日独協会第十回大会 ・ 平成9年4月25日 ・ 高崎シティギャラリー（コアホール）

## ■ハイマート16号の主内容■

- 10回記念大会とその後 ..... 2~4
- 独日協会総会見聞記 ..... 5
- 会員のお便り ..... 6
- 会員消息・ニュース ..... 7.8

\*お知らせ\*

## ぐんま日独クリスマスの集い

- ・ 日 時 97.12.7 (日) PM 2:00~4:30
- ・ 場 所 前橋市 群馬会館（地下食堂）
- ・ 会 費 2千円 交換プレゼント（千円相当）
- ・ 申込み 11月26日締切り、電話可（027-231-7212）  
出席の方は同封の振替用紙又は  
FAX（027-232-4082）
- ・ 5分間スピーチ希望者は受付まで
- ・ 駐車場は県庁・市役所・利根川河川敷を  
ご利用下さい。

## ぐんま日独協会 第十回記念大会とその後

ぐんま日独協会 (J.D.G.G.)

会長 平形 義人

1988.4.17.前橋商工会議所で、Dr.H.J.HALLIER <sup>パリイヤー</sup>駐日ドイツ大使並びに御一家をお迎えして、ドイツ好き集れと肩を叩合って第一回大会を催し、約300人の大集会となったのは、未だ忘れることが出来ない。今年は早くも第十回大会となり、高崎では是非催したいと地元の故須郷登世治副会長の強い提案と豊泉伊三男常任理事の行届いた御配慮で97.4.25佐藤進一副会長の名司会の昼食会を、ホテルメトロポリタン高崎で、大会と年次総会是对馬良一副会長の進行でシティギャラリー・コアホール(高松町)で、松浦幸雄高崎市長をはじめ児玉貴商工会議所会頭等、又、高崎市民のみならず県下の日独親善交流の有志の多数の皆様のお参加を得て、大盛会となりました。その様子は写真を以て報告申し上げたいと存じます。

最も期待していたDr.H.D.ディークマン大使夫妻が、東京を離れられない突発急用でご欠席となりました。その為別掲の如き御親書を頂き、ぐんま日独協会の名誉顧問を引受けて下され、全国に魁けて、J.D.G.G.のEhrenberaterが誕生したことは、第十回大会の最大の記念となりました。

代理として公使のChristoph Brümmer博士を高崎駅頭にお迎えしましたが、丈の高い謹厳な群馬は初めての方でした。高崎市21階の新庁舎の建設を見て、市政施行100年で100階ですねと笑わせ、記念講演では“ドイツ戦後史”と題して、東西統合後の諸問題を披露し、日独交流の歴史的意義を説かれ、高崎第9合唱団と写真を撮り、薩摩琵琶の生明慶二教授の講演と善門院義則先生の勝海舟「城山」の演奏を最後まで聴いて下され見送りの会員と野外公演場で日独の国旗を仰ぎながら記念撮影をし、市長招待の高崎市美術館のウルク展を觀賞して、すっかり群馬通外交官となられ帰京されました。

今回大会前に、ぐんま日独親善ゴルフを伊香保国際Cで催すべく、組合せまでご通知申上げましたが、急に取止めとなり、又その後の島田村長に頼み白井城下町の桜並木の見物、併せて地方分権の意気込みを見て貰い、子持村の皆様にも大使夫妻を紹介する予定のところ果たせず、既に恒例になり、「箱根よりも便利だ」と歴代大使に云わせている「伊香保温泉」宿泊も、翌朝の高崎少林山洗心亭の視察もすべて取消しとなりまして、関係者には大変御迷惑をかけてしまいました。深くお詫び申し上げます。

H.D.ディークマン大使には、昨年秋(11月)ヘルムート・コール首相が来日、今年(4月)ローマン・ヘルツォーク大統領の国賓としての歓迎の大任を無事果され、7月末印度大使として転任、離日されました。

滞在中の三年間に亘り、J.D.G.G.にお示し下されました御高配に対し、厚く感謝します。



ぐんま日独協会第十回記念大会昼食会  
平成9年4月25日 於ホテルメトロポリタン高崎



◀ 広報たかさきに紹介されました。



善門院義則教授の薩摩琵琶



司会、対馬良一副会長

*Sehr geehrter Herr Diekmann,*

mit großen Bedauern muß ich Ihnen mitteilen, daß ich - wie Sie schon wissen - am 25. April nicht nach Gumma kommen kann. Zwingende Termine halten mich leider in Tokyo fest. Ich bitte um Ihr Verständnis.

Herr Gesandter Dr. Brümmer wird die Botschaft bei der Jubiläumsfeier der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Gumma vertreten und auch meine Grüße überbringen. Ich habe unseren Besuch in Gumma und die seinerzeit uns gegenüber gezeigte große Gastfreundschaft in lebhafter Erinnerung. Umso mehr bedauere ich, daß unser Besuch diesmal ausfallen muß.

Sehr gern nehme ich das ehrenvolle Angebot an, Ehrenberater der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Gumma zu werden. Ich sehe darin einen Ausdruck auch unserer ganz persönlichen Verbundenheit.

Mit sehr herzlichen Grüßen und besten Wünschen

*H. Diekmann*

(Dr. Heinrich-D. Diekmann)

## ぐんま日独協会役員・有志昼食会

8月30日AM11:30~PM1:30ホテルメトロポリタン高崎に於いて「ぐんま日独協会役員有志昼食会」を催し利根郡須川在住の安達忠夫埼玉大学教授をお招きして、卓話を賜わり 32名の出席を得、最後に鈴木克彬氏の指導でフォークダンスで解散しました。



## 大使よりの親書(要約)

急用のため4.25日参上できません。御容赦下さい。

公使Dr.ブリュマーを代理とします。この前の群馬訪問の思い出は忘れられません。ぐんま日独名誉顧問には喜んで就任します。二人の結東の現れと存じます。

祈御多幸。

Dr.H.D.ディークマン

## 同所にて役員総会

### 議 題

- (1) ハイマート(会報)16号発行について
- (2) 国際交流まつりについて10月26日(日)午前十時  
(於)前橋市敷島公園
- (3) クリスマスの集いについて(12月7日)
- (4) 明年4月の第11会大会について(開催地高崎市)
- (5) その他(ホームステイについて)

## ポエム・童話と神話のカオス (昼食会に出席して)

安達忠夫教授は、卓話のなかで童話をもちだした。あつけにとられた会員たちは聴きおわって楽しいなにかを考えさせられた。老作家は、神話の幕切れから始まる長編小説を書いている。どこかに幻想とか夢幻でつながっているな、とおもう。日ならずして二人は、小雨のそぼ降る共愛学園の大きな校舎建築現場で、ヘルメットと長靴姿で設計者の話を聞いていた。平形会長の誘いを受けてきたのである。センター・チャペルと高さ50メートルに近いクロス・ベル・タワーを中心に、張り巡らされた鉄パイプの林立するオブジェのような中を縫って歩く。心臓だけが高鳴るばかり。小移動の時間が二人に文学の静謐(ひつ)をあたえてくれた。三時間余りの見学はヘルメットに異常な重みを被せ、言葉のない感動だけを刺激する。会長のはからいで落合築へ案内してもらい、やっと気持ちが和らぎ、三人の話がかみあってきたが、無情な冷気はわたしの体を震わした。安達さんの夜汽車?は時を待ってくれない。駅まで送り握手する。〈内容ある一日でした。でももっと話がしたかったです〉安達さんの別れ際のことばは互いの胸中そのものだった。

童話と神話と聖なる堂塔の鉄骨現場はカオスのなかのにこされた。  
(朝雲 久見臣)

## 97年独日協会総会見聞記

前橋市 佐藤進一

我が国へ最初に渡来したドイツ人はエンゲルベルト・ケンペル (Engelbert Kempfer 1651~1716) であると云われる。彼は徳川幕府五代綱吉の頃即ち元禄3年 (1690年) オランダ商館附医師として長崎に到着し、一行と共に江戸へ参内し、広く日本国内を見学した。帰国後500ページに及ぶ大著書「日本誌」を出版し西欧諸国に広く日本を紹介した。日本のことは既に信長の頃渡来したポルトガル人宣教師フロイスが報告しているが、信長の頃と違い綱吉の頃は徳川幕府の勢力が広く行き亘り、統



ケンペル記念碑

一国家としての実績を示していた。ケンペルの生れ且没したのがノルトラインウエストファルレン州の北東にある田舎町レムゴーである。

今年の独日協会連合総会はこのレムゴーで5月9、10日の2日間に開催された。ドイツ各地の協会から約130名の会員が出席し、熱心な討議が繰り広げられた。日本からは東京の藤本常務、神戸の黒崎理事長、大分の清水教授、函館の三浦教授と私の5人であった。会議は次期開催地であるブレーメンのギースラー (Giesler) 会長の司会で進められ、



独日協会総会



有馬駐独大使、中央はベルリン・ハーシュ教授

特別講演としてボン大学日本学教授ヴィンケルマン博士の「日独文化交流」に関するものであった。夜は有馬駐独大使主催によるパーティが開かれ、賑やかな交歓が行なわれた。私はベルリン、ボン、その他の都市の友人と久闊を叙した。デュッセルドルフの日本人会の人達も多く出席した。新しい顔触れでは、フランクフルトのシュテール会長は若くしてインターコンチネンタルホテルの総支配人となった人であるが、夫人賀代子さんは日本人である。



記念パーティ (正面はシュテール夫妻)

2日目の会議の後半は日本からの出席者に発言を求められた。私は一昨年ザールブリュッケンでは始めてであったので、ベルツ博士とタウト教授のことを喋ったが、今回は音楽のことにふれた。小沢征爾とカラヤンの事、そして、彼の師である齋藤秀雄は戦前ドイツへ留学し音楽を勉強し、戦時中ドイツから逃れて来たローゼンシュトックの指揮法を自家掌中のものとした。この辺の経緯を描いてドイツ語で述べると会員から大きな拍手を受けた。(終)

## 会員のお便り

### 「ニュールンベルグ」四度び

前橋市 八木 文 夫

ニュールンベルグは案内書に依れば「ドイツ中世の面影を良くとどめた美しい古都。今では近郊のフルトやエアランゲン等とともに西ドイツ有数の工商都市として重きをなして居る」とある。大戦中アメリカの壊滅的爆撃を受け、ナチスを裁いた「ニュールンベルグ軍事裁判」でも有名。

この地に四度も訪れたのには何の因縁か？ヨーロッパ旅行で此の地に二人の友人が出来たからかも知れない。最初の一人は Heinz Zimmermanさん、1991年スイスのツェルマツト観光の時知り合った人。もう一人は92年チロルで知り合った Siegfried Kummerさん、大戦の勇士で負傷の傷跡が眉間に残って居た。N/Bのタクシー会社の社長さん。

第一回目の訪問は1991年夏、一泊の予定がウィーンからの託送のチッキ便が国境の検査で遅れた為二泊となり御蔭でゆっくり見物出来た。



左より チンメルマンさん、右 キュンマーさん、中央私

第二回は同じ夏、ケルンに居た孫娘を連れてロマンチック街道巡りの帰り道に一泊。第三回は1993年夏、パリから鉄道プラハへの途中、ここで一泊した。

第四回目は1995年正月、孫娘がボンの交響楽団と此の地で公演するので日本から御輿を上げて渡欧、ウィーンから雪景色を眺めながらN/B入りをした。この時は前記の畏友二人とも雪の凍て道を劇場に駆け付けて下さり再会を楽しむ事が出来た。心の暖かい人ばかり。この御二人とはクリスマスカード其の他で交遊を続けて居り、その度にババリア人の人懐かしさを感じて居る。そして面白い事に差出人の住所の宛名はGermanyではなく Bavaliaと大書きしてある。ババリア王国の歴史を物語るて微笑ましい。この交際も私が最年長だから何日迄続く事だろうか？(ニュールンベルグ万歳! ババリア万歳!)  
※筆者の孫娘(植村理葉)は11/20(木) PM7:00銀座王子ホールにて、ヴァイオリニサイタル(毎日ソリスト)

## 上州パワーで日独交流!

川口市 松浦 孝 久



横山さん(左)と  
筆者夫婦(市内の喫茶店で)

ベルツ博士やブルーノ・タウトらが住んだように、本県は古くからドイツとの交流が盛んでしたが、逆に群馬県人がドイツで活躍しているケースもあります。そんな人たちの中でも草

的な存在といえる横山慶治郎さん(63)を紹介します。

高崎出身の横山さんは約40年もドイツに住み続け、ビジネスの一線を退いた今では、アーヘンで自適の生活を送り、市民に日本語を教えながら交流に努めています。上智大学でドイツ語を学び、卒業と同時に渡独、ハンブルグにあるエール・フランスの事務所働き始めました。なにしろ当時は飛行機もプロペラ機の時代。ドイツに行くにも、まる1日かかる大旅行だったといえます。

やがて現地で知り合ったドイツ人、イルゼさんと結婚し、一男一女をもうけました(兄のアレクサンダー君と妹のモモコさん)。二人とも国籍は日本ですが、ずっとドイツに住んでおり日本語はまったくできないそうです。

その後、エール・フランスを退職し、今の職場である「We De Ca」という組織に移りました。仕事は、日本から車やバイクを仕入れ、アフリカの途上国に供与するというもので、いわゆる企業ではありません。協会組織やドイツ政府の援助を受けて運営しているそうです。したがって慈善団体に近く、「もう営利追求の仕事はしたくない」という横山さんは毎日が楽しそうです。

日本語を教え始めたのは6年前から。地元アーヘンの市民大学講座の一環として始められ、週に2-3回、初級日本語を10-20人に教えています。ドイツ旅行中だった私たちが授業風景を見学したところ、習うのは主に簡単な表現で「Hon o Yomimasuka (本を読みますか)」「Iie Yomimasent (いえ、読みません)」などローマ字を使って練習していました。

参加する生徒も学生から社会人、主婦まで色々な層で、ドイツ人ばかりでなく、イラン人やルーマニア人など国籍も多様。授業は夜間コースで、昼間の仕事などを終えてから勉強できるようになっています。日本語を習う動機もさまざまで、中には「日本で就職したいが、できる可能性はあるか」と真剣に聞いてくる若者もいて、ドイツでの失業率の高さを物語るものか、と考えさせられました。

今こそデュッセルドルフを中心に、たくさん日本人ビジネスマンがドイツでも当たり前  
和やかな雰囲気の中で進む横山さんの日本語授業(アーヘン市民大学講座で)

働く時代ですが、何と言ってもドイツ滞在歴40年の実績を持つ横山さんはバイオニア。こうした上州人の誇るべきフロンティア精神を見習いつつ、私たちが日独交流を進めたいものです。



(E-Mail: VEP03170@nifty.or.jp)

左 右  
伊藤 廉平  
古屋 監査



## 古屋 賀津子さんを追悼する

高崎市 伊藤 廉平

古屋さん貴方は生前ぐんま日独協会の役員としてご活躍して下さいました。

役員会には不自由な躰をいとわずご出席になり、席上有益な意見や提案をしめされる等協会運営にも随分と寄与されました。

とくにぐんま日独協会の監査役を引受けられ、毎年度の決算報告のしめくりを務めて頂きました。

年度会計、決算、予算担当の私と監査担当の古屋さんの二人三脚で毎年度の会計報告がまとも会員皆様のご承認を頂く事が出来ました。

仕事に当たっては古屋さんは明晰な頭脳と旺盛な責任感でたへず書類に目を通し、ご自身の納得のいくまで検討される性格でした。

忘れられない事は平成九年四月二十五日ぐんま日独協会10回記念大会の総会席上恒例の会計及び監査の報告が終了し、その席上古屋さんが「皆さん健康には、くれぐれも注意され長生きして下さい」と監査とは異質のご発言をなさり降段いたしました。

今にして思へばご自身がぐんま日独協会会員の皆様の前立つ最後の舞台と思ひ、別離の言葉として申し述べられたのかも知れません。

孤独と病苦の中で気持ちも立ちすくむ中で、自らの責任を貫いた気力と思ひやりの精神には頭の下がる思いです。私はこのスピーチを思い出す度に胸が一杯になり古屋さんの見事な人生の幕引きであったと思っております。古屋さん長い間一緒に経理担当委員としてお世話様でした。

貴方は一言の不平も不満も、もらさず大会から一ヶ月後の平成九年五月二十五日に天国に旅立たれました。ご家族皆様への悲しみ哀惜の情いばかりかと存じます。天国より皆様のご健康と繁栄をお守り下さい。

ぐんま日独協会も立派な勇者の屍を乗り越えて更なる目標に向かい前進する事をお誓い申し上げます。

古屋賀津子さん長い間有難うございました。

## 涼涼の教育者 高寺 宏延さんを偲ぶ

高崎市 朝雲 久見臣

少林山の席室でお目にかかったのが初めてでした。拙著の出版記念会があったときのことです。ぐんま日独の総会や役員会でたびたび顔を合わせましたが、それでも10回くらいだったでしょうか。『もうひとりのブルーノ・タウト』について書評を求めたとき、「私はタウトについての知識がありません。書評などとても無理です。ご本の中の『カントへの敬慕』は大変参考になりました」そう高寺さんはおっしゃいました。何年か経ってお互いに親しさが増したころ、「今まで発表してきた論文集を出してはどうか、とある出版社から勧められています。どうしたものかと考えています。初版のときは若干費用がかかるそうですが…」「よい機会ではありませんか。出版なさってはいかがですか。一冊の本にまとめておくのは意味のある記録になりますからね」

そんな会話が脳裏をかすめます。知性を秘めた穏やかな人柄でした。記念総会や講演会ときには、ドイツ大使や講師をお送りするのはいつも高寺さんのお役目でしたし、ミュンヘン大学の学生が少林山に滞在したとき、共愛女子短大の教え子を参加させ、交流を深めたのは、まだ昨日のこのように思われてなりません。



後列右より3番目 高寺宏延理事、左はし、朝雲副会長

昨年の夏以来、ガンとの闘病生活に入りながら、ご自分の余命を察知し、手術を避けて治療を受けながら、学生への指導という道を選ばれた由。入院後も講義をつづけ、今年新学期の学生に2回の哲学、西洋文化論などの講義を行ったそうですね。6月3日、午前11時30分、帰らざる人となり58歳の生涯を閉じられてお終いになりました。

教育に注いだ熱情が、悲愴さというものを感ぜさせないのは、高寺さんの描いた人生のプロセスに、私たちに窺い知ることのできない広い遥かな涼涼とした世界が開かれていたからかもしれません。含蓄ある文化人、高寺宏延さんを失って知る別離を、わたしは、悲しく思いながら、「さよなら」と、澄んだ清らかな流れにあいさつを手向けます。

(6月7日、長野県上田市の斎場で葬儀が行われました。ぐんま日独協会から生花が供えられ、共愛女子短大の同僚や教え子が多数参加されました。)



ディークマン駐日大使歡送会にて

## 大使離日の御挨拶 1997.7月

ぐんま日独協会 会長 平形 義人様

この度、駐日ドイツ大使としての任務を間もなく終える事となりました。妻共々、様々な出来事に彩られ、充実したこれまでの三年の月日を感謝を持って振り返るものであります。

別れの時に当たりまして、これまで常に私の業務を御好意を持って見守られ、極めて大きな御支援を賜りました全ての方々に是非御礼申し上げたく存じます。

日独両国関係が、近年、更に緊密さの度合いを高めましたのは、全国の日独協会の御尽力に寄るところ、大であります。日独の友好が人々の心に根づいているとすれば、それこそ日独協会の御功績なのであります。私どもは、度々、ドイツとの友好的な絆の表われを見て参りましたが、これは心楽しむ経験でございました。

貴殿が、日独関係の維持・発展に当たり、私の後任者をも御支援下さいますれば、幸甚に存じます。

Dr. Heinrich-D. Dieckmann

## 新大使印度より来る!!

1997.9.11. 大使公邸にて 信大使フランク・エルベ、同夫人エレン・エルベ両人が、木村敬三日独全国連合会副会長より紹介された。



*Der neue designierte deutsche Botschafter Frank Elbe und Frau Ellen Elbe werden anwesend sein. Botschafter Elbe und seine Frau freuen sich auf die Gelegenheit, so kurz nach ihrem Entreffen in Japan und noch vor der Überreichung des Beglaubigungsschreibens durch den Botschafter zahlreiche Mitglieder der Japanisch-Deutschen Gesellschaften in Japan kennenzulernen.*

ドイツ大使館の東京インターネットホームページ  
<http://www.tebeserve.co.jp/embassy/germany>

- 7月10日Dr.H.D.ディークマン大使はホテル霞友会館に於て、日独協会の歓送を受けられ、引続き宮中に参内、天皇陛下より勲一等旭日章に叙せられました。
- 7月22日、樋口広太郎全国日独協会会長はドイツ連邦共和国功労章大功労十字章に輝き、伝達式が大使公邸で執り行われ、羽田前総理の乾杯に始まり、群馬からは小淵現外務大臣も御参加、文化勲章受賞の森英恵氏等も御出席の盛宴でした。



1997年7月22日  
 樋口広太郎氏に  
 大功労十字章を  
 贈呈する  
 Dr.H・D.ディークマン大使

- 12月7日は前橋群馬会館、地下食堂にてPM2:00~4:30までクリスマスの集いがあります。恒例のサンタクロースの他に、フォークダンス等もあります。是非ご家族、ご友人お誘い合わせの上ご参加下さい。ご案内は表紙右下をご覧ください。

## ●日独を代表するクワルテットの共演● 澤、ヘンシェル・ジョイントコンサート

(全席指定 ¥3,000、当日¥3,300)

〈演奏曲目〉

- ・シューベルト作曲 弦楽四重奏曲第13番イ短調「ロザムンデ」
- ・ブラームス作曲 弦楽六重奏曲第1番変ロ長調
- ・メンデルスゾーン作曲 弦楽八重奏曲変ホ長調

## ●11月2日(日) 前橋テルサ

開場 13:30 開演 14:00

(駐車場無料サービス券あり)

■お問い合わせ TEL027-231-3211

## [新会員募集中]

希望者は下記へご連絡下さい。

〒371 前橋市三俣町3-11-12

TEL 027-231-7212

FAX 027-232-4082

## ◇原稿ご案内◇

日独交流につながるご感想・情報・会員消息・作品を住所・氏名・職業・年齢・電話番号明記の上、お寄せ下さい。紙面の都合で編集部で手直しさせていただきます。 (800字以内)

◎原稿の返却は致しません。宛先は表紙参照。